TOKYO INVESTIGATIVE NEWSROOM TANSA

国際
アドバイザリーボード

スティーブン・バトラー

ジャーナリスト保護委員会(CPJ)
アジアプログラムコーディネーター

米国

米コロンビア大学で政治学を専攻し、博士号を取得。1980年代半ばより、アジア中を飛び回るジャーナリストとして活躍する。韓国に拠点を置きながら、英国経済誌Financial Timesや米国の日刊紙The Christian Science Monitorへの寄稿を経て、Financial Timesのスタッフに。その後、東南アジア、ロンドン、東京で取材と執筆を続け、中国への定期的な訪問にも精を出す。2016年からはアメリカでジャーナリスト保護委員会のアジアプログラムコーディネーターを務める。

矢部寛明

認定NPO法人底上げ 理事長、
東北芸術工科大学教員

日本

2011年4月、東日本大震災を機に宮城県気仙沼市で活動を開始。学習支援や若者をエンパワメントするNPO法人「底上げ」を立ち上げる。「本質的な復興は人材育成にある」という考えの下、現在は高校生への人材育成事業などに注力する。2016年、底上げはマイクロソフト社「Upgrade Your Worldプログラム」でローカル非営利パートナーに選ばれる。
2018年4月より東北芸術工科大学のコミュニティデザイン学科で講師を勤める。座右の銘は「行動はメッセージ」。

ゲルト・コッパー

ドルトムントTU大学名誉教授

ドイツ

ジャーナリスト、編集者、外国特派員、コンサルタントを経験し、1978年に独ドルトムント大学ジャーナリズム研究所へ。「ポリシー・エコノミー・マスメディア法」研究プログラムのリーダーや研究所長を務める。同大学にエーリッヒ・ブロスト欧州ジャーナリズム研究所を設立し、初代所長に就く。マーストリヒトの欧州ジャーナリズムセンターの初代理事長も務めた。数多くの大規模な国際研究プロジェクトを率いる。これまでに、30冊以上の書籍や多数の記事を執筆し、編集者としても活躍を続ける。

松井香

一般財団法人JAPAN革新継承基金
代表理事、
JAPAN革新継承株式会社 代表取締役

日本

東海テレビ放送報道部キャスターを経て上京。1998年、ビットバレーのネットベンチャー立ち上げをサポートし経営に参画。2001年にプライベートエクイティファンドで投資と投資先経営を行い、2002年以降はＴＯＨＯシネマズ株式会社常務取締役など、バイアウトファンドで数々の投資と経営を経験し独立。2015年より、ＪＡＰＡＮ革新継承基金やＪＡＰＡＮ革新継承株式会社等をチームで立ち上げる。経営を通じて社会貢献に寄与できる方法を研究実行している。

ロバート・J・ローゼンタール

探査報道センター(Reveal)
元事務局長

米国

米フィラデルフィアの地方紙The Philadelphia Inquirerで25年間、記者および編集長を務めた。2002年にカリフォルニアの新聞社San Francisco Chronicleの編集長に就任。2008年にカリフォルニアを拠点とするCenter for Investigative Reporting(探査報道センター)の事務局長に就任し、2017年まで同ニュース組織のトップを務める。彼の功績により、センターは米国で最大の非営利探査報道組織の一つに成長した。現在は同センターの理事会メンバーを務める。コロンビア大学ジャーナリズム大学院で教鞭をとった経験をもつ。

チャールズ・ルイス

探査報道ワークショップ 編集長、アメリカン大学コミュニケーション学部教授

米国

1984年より５年間、ドキュメンタリー番組「60 Minutes」のプロデューサーとして活躍する。彼は2つの探査報道機関、1989年に「The Center for Public Integrity」を、そして1997年に「 International Consortium of Investigative Journalists」(ICIJ)を設立し、どちらもピューリッツァー賞を受賞した。1998年、人並み外れた独創性を発揮した者に贈られるマッカーサーフェローを受賞。2008年には、米ワシントンD.C.にあるアメリカン大学の教授となり、Investigative Reporting Workshop(探査報道ワークショップ)を立ち上げ、編集長に就任。非営利ジャーナリズム運動を率いてきた。これまでに6冊のベストセラー作品を生み出す。

林怡瘦
(リン・イーシェン)

立教大学社会学部教授

日本

台湾台南市生まれ。国立台湾大学社会科学院新聞研究所修士課程修了。東京大学大学院人文社会系研究科・社会文化研究専攻・社会情報学専門分野修士課程、博士課程修了。博士（社会情報学）。専門はジャーナリズム、オルタナティブ・メディア、エスニック・メディア研究。「若い世代が、マスメディアの古いやり方から離れて、ジャーナリズムの、新しい別の文化と組織を作ってほしい」という思いで教壇に立っている。

花田達朗

社会科学者

日本

フリーランス社会科学者で、専門は社会学、メディア研究、ジャーナリズム研究。早稲田大学名誉教授。東京大学名誉教授。1947年長崎県の生まれ。ミュンヘン大学哲学部コミュニケーション学(新聞学)修士課程修了、同大学大学院博士課程満期退学。東京大学大学院情報学環教授、学環長を経て、2006年から早稲田大学教育・総合科学学術院教授を務め、2018年3月に定年退職。早稲田大学ジャーナリズム研究所では所長を務め、ワセダクロニクルをプロジェクトとしてスタートさせた。